

開催にあたって

「観光」とは、古代中国の『易経』の一節が語源とされ、他国へ行き、その国の文物制度を観るとともに、自国の文化を示すこととされています。

房総には香取神宮や成田山新勝寺といった参詣客が多く集まる神社仏閣があり、房総における観光といえば、寺社参詣でした。蒸気船や汽車などの交通機関が整備されるのに伴い、この参詣客を獲得するための宣伝活動が盛んになりました。

また、三方を海に囲まれた千葉県では、海は漁場であるとともに、貴重な観光資源でした。交通機関の発達に伴い、県内各地には海水浴場が開設される一方、温暖な気候とも相まって、稲毛や一宮などには保養地として別荘なども多く設けられ、リゾート地房総の先駆けとなっています。

今回の展示では、明治150年を記念して、文書館が所蔵している資料を中心に、千葉県の観光のあゆみを振り返ります。

最後になりますが、今回の企画展を開催するにあたり、貴重な資料や情報をお寄せいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

平成30年9月25日

千葉県文書館長

目 黒 敦

目 次

1. 房総の寺社参詣……………	3	4. 房総リゾートの始まり……………	10
2. 蒸気船でいらっしやい……………	4	5. 明治期の観光施策……………	13
3. 汽車でいらっしやい……………	6	展示資料リスト……………	15
駅弁掛け紙コレクション……………	8		

凡 例

- 1 本図録は平成30年9月25日から平成31年3月9日まで開催する平成30年度企画展「明治150年企画展示 房総へいらっしやい ー千葉の観光のあゆみー」の展示図録です。
- 2 紙幅の関係で本図録には掲載されていない展示資料もあります。
- 3 期間中に展示資料の一部を替えることがあります。
- 4 図版番号と展示順は必ずしも一致しません。
- 5 本展示と本図録の編集・執筆は、文書館県史・古文書課副主幹渡辺善司が担当しました。